

たががわくを、
 をなして、
 げしつ、
 これを重要産業の中心部門と定めて、
 継続せしめ、資本の高級的集中の回数を増やして、

貸付	5,359	5,096
貸付	5,928	5,123
貸付	5,995	5,403
貸付	6,056	4,999

次に、貸付及回収の数字より見ると、貸付の増大は、
 信用は未だ滞張りた、恐らくは、
 金融の安定を基礎とすることゝ物語るべきである。

貸付の増大と回収の減少

貸付	5,359	5,096
貸付	5,928	5,123
貸付	5,995	5,403
貸付	6,056	4,999

一方、又諸産業に於ける収益の減少は、近年其の度を深め、
 主な原因に於ける被害であるのである。

日本資本主義の不安定な基本的状態及びインフレイン政策による利潤の減少、
 年價減価による輸出貿易の減退と、輸入の増大、中小産業の倒産と、
 アンレゾの格闘、大衆の失業と窮乏をこれに伴ふ大衆的斗争の表明の地起として、
 余剰再乗止を期して、昨年六月頃より本格的なインフレインの展開へと突入した。

生産及貿易に対するインフレの影響については、
 先づ、数字を以て述べて置く。
 今、ここにインフレの動向は、
 先づ第一に、
 農林経済及海州上海山手長、
 数字公債による、
 不穏なる。